



STAR'S REPORT

2018年12月期 中間報告書

スター精密株式会社

証券コード：7718

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2018年12月期中間期(2018年3月1日から2018年8月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

2018年11月

代表取締役社長 佐藤 衛



> 当中間期の業績について

当中間期における当社グループの主要関連市場におきましては、工作機械市場では、国内、海外ともに需要は好調に推移し、特機事業におけるPOS関連市場においても海外市場を中心に需要は堅調に推移しました。精密部品

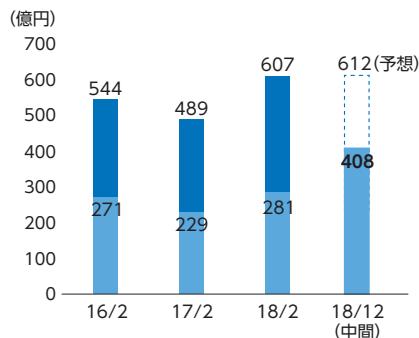
関連市場では、時計部品、非時計部品ともに需要は堅調に推移したものの、HDD部品などの一部の需要は低調に推移しました。

このような状況のなか、当中間期の売上高は、工作機械の販売が好調に推移したことなどにより、408億7千6

連結業績ハイライト

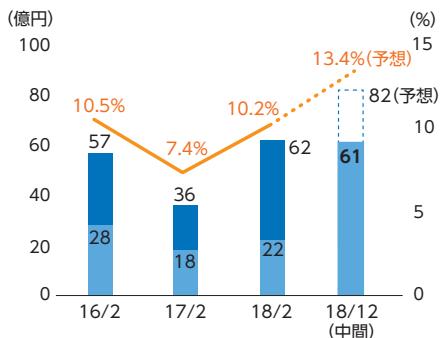
売上高

■ 中間 ■ 通期



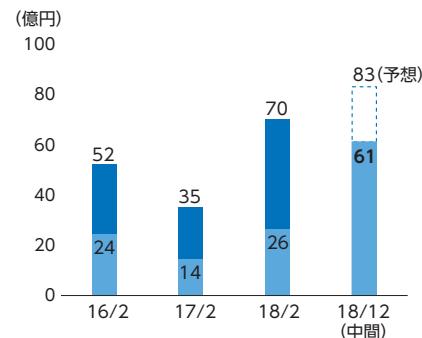
営業利益／営業利益率

■ 中間 ■ 通期 — 営業利益率



経常利益

■ 中間 ■ 通期



(注) 当期より決算期を2月末日から12月31日へ変更いたしました。これに伴い当第2四半期につきましては、当社および国内連結子会社は6カ月間(2018年3月1日から2018年8月31日まで)、海外連結子会社は8カ月間(2018年1月1日から2018年8月31日まで)を連結対象期間としております。また通期予想の数値につきましては、当社および国内連結子会社は10カ月間(2018年3月1日から2018年12月31日まで)、海外連結子会社は12カ月間(2018年1月1日から2018年12月31日まで)を連結対象期間としております。

百万円となりました。利益につきましては、営業利益は61億8千6百万円となり、経常利益は61億4千9百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は47億8千万円となりました。

> 通期の見通しについて

今後の世界経済については、米国の貿易政策の影響や中国を始めとしたアジア新興国等の経済の先行きなど、不透明感はあるものの景気は緩やかな回復が続くと見込まれます。

このような状況のなか、工作機械事業において国内、海外ともに販売が引き続き好調に推移していることなどから、通期の連結売上高は612億円、利益につきましては、営業利益は82億円、経常利益は83億円、親会社株主に帰属する当期純利益は60億円を見込んでいます。

> 株主還元について

株主還元につきましては、自己株式の取得を含む連結総還元性向50%以上を基準にDOE（連結株主資本配当率）を勘案しながら実施していくことを基本方針としております。

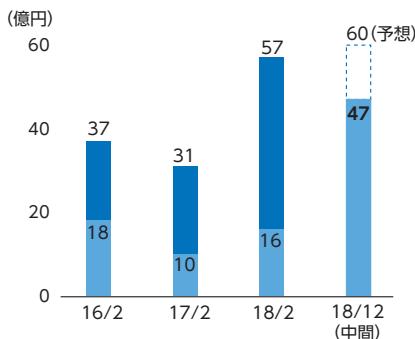
この方針に基づき、当期の1株当たりの中間配当は、前期の中間配当に比べ2円増配の27円とさせていただきます。また、期末配当につきましても同じく1株当たり27円を予定しており、中間配当とあわせた当期の年間配当予想は、前期に比べ2円増配の54円となります。

また、2018年7月から9月にかけて507千株の自己株式取得を実施し、9月28日付で同数を消却いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

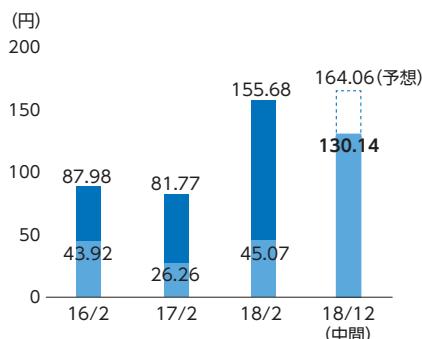
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■ 中間 ■ 通期



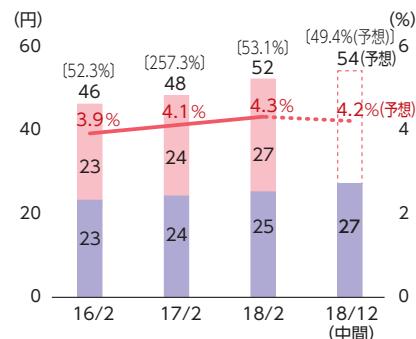
1株当たり四半期(当期)純利益

■ 中間 ■ 通期



株主還元

■ 1株当たり期末配当 ■ 1株当たり中間配当
— DOE (連結株主資本配当率) ()内数値は総還元性向



事業別の概況 BUSINESS SEGMENT OVERVIEW

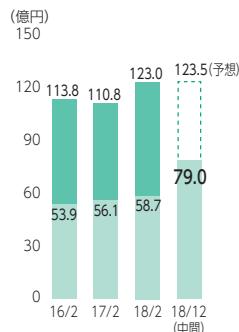
(注) 当期より決算期を2月末日から12月31日へ変更いたしました。当第2四半期につきましては、当社および国内連結子会社は6カ月間(2018年3月1日から2018年8月31日まで)、海外連結子会社は8カ月間(2018年1月1日から2018年8月31日まで)を連結対象期間としております。また通期予想の数値につきましては、当社および国内連結子会社は10カ月間(2018年3月1日から2018年12月31日まで)、海外連結子会社は12カ月間(2018年1月1日から2018年12月31日まで)を連結対象期間としております。



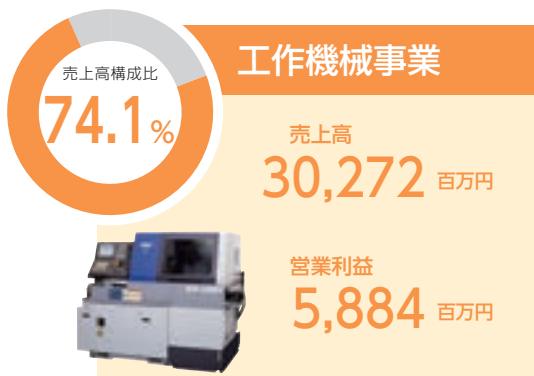
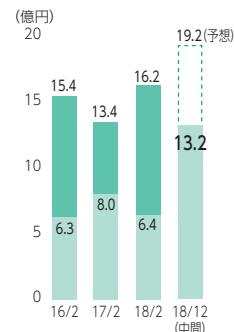
▶ 当中間期のポイント

- 米国市場は、販売は堅調に推移
- 欧州市場は、市況回復を背景に販売は好調に推移
- アジア市場は、中国においてサーマル完成品など一部の需要が落ち込むが、その他は好調に推移
- 国内市場は、全体としては底堅く推移したが、大口の案件は低調な動きとなった

売上高 (■中間 ■通期)



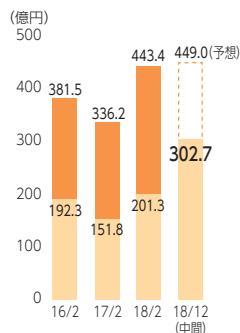
営業利益 (■中間 ■通期)



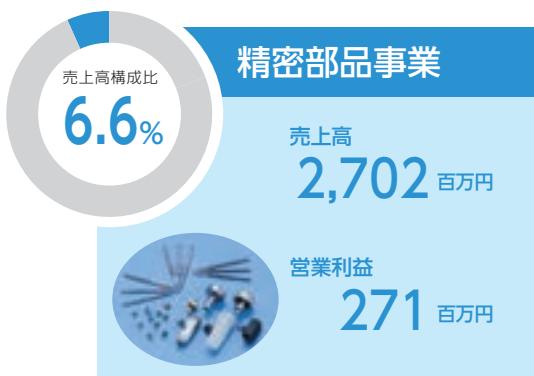
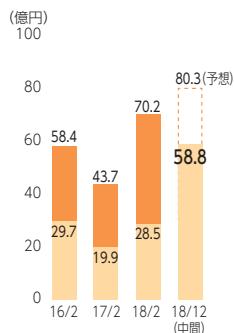
▶ 当中間期のポイント

- 米国市場は、医療関連を中心に販売は堅調に推移
- 欧州市場は、自動車関連を中心にドイツ、イタリア等の主要市場において販売は好調に推移
- 中国を中心としたアジア市場では、自動車や通信、医療関連において販売は好調を維持
- 国内市場は、自動車、半導体など幅広い業種において販売が好調に推移

売上高 (■中間 ■通期)



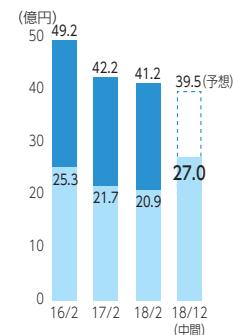
営業利益 (■中間 ■通期)



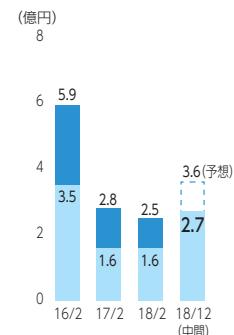
▶ 当中間期のポイント

- 時計部品は、腕時計メーカーの販売好調を受け、販売は堅調に推移
- 非時計部品は、HDD部品が市場の縮小に伴い販売が低調に推移したが、空調や医療関連部品の販売が好調に推移

売上高 (■中間 ■通期)



営業利益 (■中間 ■通期)



スター精密グループ東京オフィス開設 特機事業の国内販売子会社設立

東京都港区新橋に「スター精密グループ東京オフィス」を開設しました。当オフィスは、JR新橋駅から徒歩8分、日比谷通り沿いという好立地を生かし、当社グループの新たなソフトウェアを中心とした研究開発拠点とするほか、最新の技術や情報、知見、人脈等へのアクセスポイントとして活用する予定です。

当オフィスには、同時に設立された特機事業の国内販売子会社「スターマーケティングジャパン株式会社」も入居しています。同社は、多様化するお客様の需要・要望に応えるため、小型プリンターだけでなく幅広い周辺機器を取り扱うほか、ソフトウェアを含めたソリューションサービスを充実させるなど、既存の枠組みを越えた新たなビジネスの展開を目指しています。



スイス型自動旋盤「SR-38J」を発表



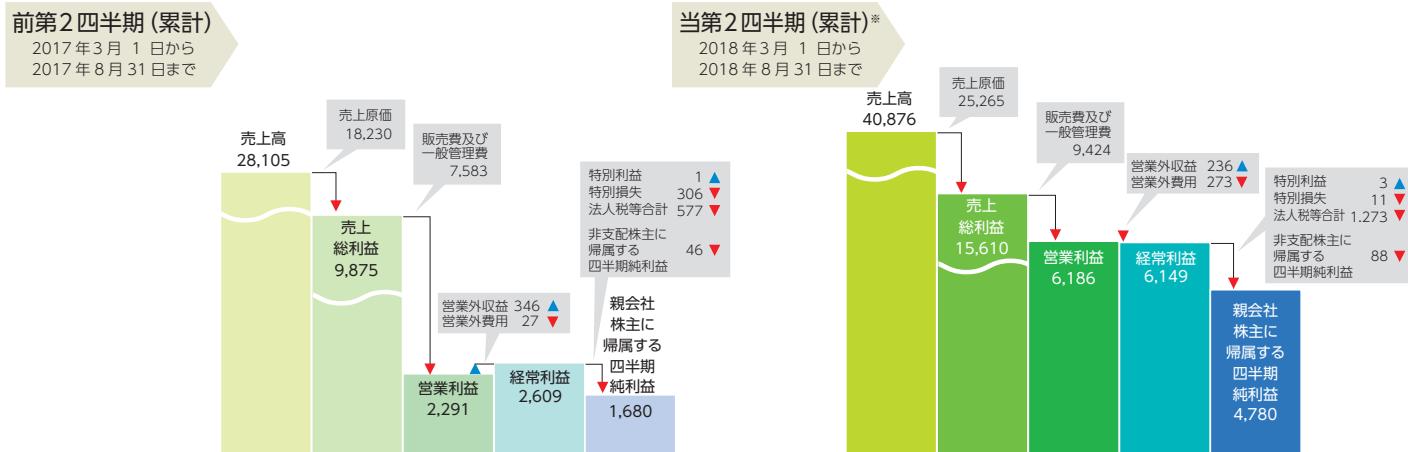
優れた機能と機械剛性から好評を博すSRシリーズの新製品として、スイス型自動旋盤「SR-38J」を発表し、2018年11月より販売を開始します。「SR-38J」は、2016年に販売を開始した既存モデルのSR-38シリーズから、複合加工機能を絞り込み、大径部品の加工に必要な基本機能を追求したモデルです。

ガイドブッシュを取り囲むように、手前側に5本型バイトホルダー、奥側に2本型バイトホルダー、上側にクロス加工専用の回転工具3軸と用途に合わせて工具ユニットを装着できるカートリッジポジションが構成された門型刃物台を搭載。オプションの増設用ホルダー、ユニットを追加することで、旋削工具、回転工具の本数を増加させることが可能です。さらに、長尺部品から短尺部品まで、お客様の加工ニーズに合わせてガイドブッシュとノンガイドブッシュの最適な切り換えが可能です。

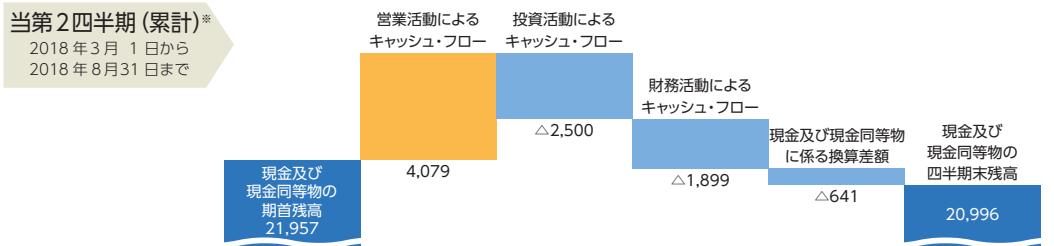
▶ 四半期連結貸借対照表の概要 単位:百万円



▶ 四半期連結損益計算書の概要 単位:百万円



▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 単位:百万円



※ 当第2四半期(累計)につきましては、当社および国内連結子会社は6カ月間(2018年3月1日から2018年8月31日まで)、海外連結子会社は8カ月間(2018年1月1日から2018年8月31日まで)を連結対象期間としております。

▶ 会社概要

設立	1950年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	514名
	(注)契約社員等の当中間期の平均雇用人員43名を除いております。
営業品目	1.特機(小型プリンター) 2.工作機械(CNC自動旋盤等工作機械) 3.精密部品(腕時計部品、自動車用・空調機器用・医療用等部品)

▶ 役員

代表取締役会長	佐藤 肇	上席執行役員	村上 淳一
代表取締役社長	佐藤 衛	上席執行役員	青木 隆之
常務取締役	田中 博	上席執行役員	杉浦 啓之
社外取締役	岩崎 清悟	上席執行役員	山梨 正人
社外取締役 常勤監査等委員	本多 道昌	執行役員	西沢 良和
社外取締役 監査等委員	洞江 秀	執行役員	笹井 康直
社外取締役 監査等委員	杉本 基		

▶ グローバルネットワーク

国内拠点

事業所 国内子会社

- 本社部門・特機事業部 (株)マイクロ札幌 本社
- 特機事業部
庵原工場
品質技術センター
- 機械事業部
菊川工場
東京営業所
大阪営業所
名古屋営業所
諏訪営業所
- 精密部品事業部
富士見工場
- スター精密グループ
東京オフィス

海外拠点

北米

- スターマイクロニクス
アメリカ・INC(米国)
- スター CNC
マシンツール Corp.(米国)
- スターアメリカ
ホールディング・INC(米国)

欧州

- スターマイクロニクス
ヨーロッパ・LTD(英国)
- スターマイクロニクス・
AG(スイス)
- スターマイクロニクス
GB・LTD(英国)
- スターマイクロニクス・
GmbH(ドイツ)
- スターマシンツール
フランス・SAS(フランス)

アジア

- スターマイクロニクス サウスイースト
アジアCo., LTD(タイ)
- 天星精密有限公司(香港)
- 上海星昂機械有限公司(中国)
- スターマイクロニクス(タイランド)
Co., LTD(タイ)
- 斯大精密(大連)有限公司(中国)
- スターマイクロニクス
マニュファクチュアリング
(タイランド)Co., LTD(タイ)
- 上海星栄精機有限公司(中国)

(注)スターマイクロニクス プレシジョン(タイランド)Co., LTD(タイ)は2018年9月28日付で全株式の譲渡を行い、当社の連結子会社から除外されました。

▶ 大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,595	9.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,589	9.9
株式会社静岡銀行	1,582	4.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,153	3.2
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE HCR00	915	2.5
ピーエヌワイエム エスエーエヌアイ ピーエヌワイエム ジーシーエム クライアント アカウンツ エム エルエスシーピー アルティ	756	2.1
鈴木 通	655	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	620	1.7
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン 140042	598	1.6
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティアー 505234	517	1.4

(注1) 当社は、自己株式 10,385千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。なお、当社は2018年7月11日開催の取締役会決議に基づき、8月までに454,600株、9月以降52,400株の合計507,000株の自己株式を取得し、9月28日付で同数を消却しております。

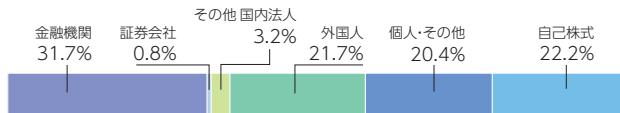
(注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

▶ 株式状況

発行可能株式総数	158,000,000株
発行済株式総数	46,774,634株
株主数	9,563名

(注) 2018年9月28日付で507,000株の自己株式の消却を行いましたので、10月31日現在の発行済株式総数は、46,267,634株となっております。

▶ 所有者別分布状況



事業年度	毎年1月1日から12月31日まで (2018年度は、3月1日から12月31日までの10カ月決算となります)
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	期末配当 12月31日 中間配当 6月30日(2018年度は8月31日)
定時株主総会の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 《郵送先》〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地(NMF竹橋ビル6F) 電話 0120-49-7009(通話料無料) 《郵送先》〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL(https://www.star-m.jp)
単元株式数	100株

● ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、IR情報や新製品に関するお知らせなどさまざまな最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<https://www.star-m.jp>



(注) 2018年5月24日開催の第93期定時株主総会決議に基づき、上記の事業年度、定時株主総会、剰余金の配当の基準日および定時株主総会の基準日が変更になっております。

株式に関するお手続きについて

お手続き内容	お問合せ窓口	
	証券会社に口座をお持ちの株主様	証券会社に口座をお持ちでない株主様
<ul style="list-style-type: none"> ● 住所・氏名等のご変更 ● 単元未満株式の買取および買増請求 ● 配当金の受領方法のご変更 	口座をお持ちの証券会社	特別口座の口座管理機関 東京証券代行株式会社 《連絡先》 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地(NMF竹橋ビル6F) 電話 0120-49-7009(通話料無料) ※三井住友信託銀行株式会社全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)においてもお取次しております。 《郵送先》 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター
		すべての株主様
<ul style="list-style-type: none"> ● 未受領の配当金に関するお問合せ ● 郵便物についてのお問合せ・再送付のご依頼 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行 本支店でお支払いいたします。 《連絡先》 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 《郵送先》 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	

スター精密株式会社

〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10
TEL.054-263-1111 FAX.054-263-1057



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

